



SAMURAI STRANGERS

世界一周旅

SAMURAI STRANGERS PROJECT

～世界のキャリアに出会う旅～

OVERVIEW

01

富永寛之について

02

人生の目的

03

世界一周の目的

04

ゴール (KGI)

05

ゴール (KPI)



富永 寛之

SAMURAI STRANGERS PROJECT 発起人・代表



01

- 1998年生まれ・福島県出身。
- 公立大学法人高崎経済大学卒業。
- 新卒で機械専門商社の株式会社山善に入社。インセールスとして機械の販売・アフターサービス、機械周辺部材の調達に従事。
- 1年9カ月勤務後の2022年12月に退社。
- 2023年1月から4月にフィリピン語学留学。

02

- 世界一周は様々なキャリアを模索する旅を企画
- 人と話すことが趣味。

03

- 2023年7月下旬より世界一周開始予定。
- 現在は福島民報社からの名義使用協賛を頂いております。

各種SNS

詳しくはlit.linkをご確認ください：<https://lit.link/samuraistranger>



SAMURAI
STRANGERS
BLOG



note
日々の思いを綴ります



Instagram
旅での交流発信



TikTok
旅での交流発信



Twitter
感じたことを呟きます

02

人生の目的



人生の目的

ビジネス界において世界で活躍する日本代表になる

- 30歳までにビジネスというフィールドにおいて、世界を舞台に活躍するビジネスマンになる。
- 幼少期から高校までサッカー日本代表を目指した経験があり、フィールドは違えど日本代表になりたい思いがある。
- 私が考えるビジネス界の日本代表の定義は、
「海外で日本のために仕事・活動をしている」
「海外で外貨を獲得し日本に還元している」 となる。

日本の経済成長や豊かな国である続けるための貢献をする

- 日本と海外を繋ぎ、新たな仕事を作り、日本に還元するという想いのもと大学時代は就活に挑む。
- 若者が外貨を獲得⇒日本に還元し日本の経済成長を支えたい。
- 豊かな日本を、今後も豊かであり続けられるための一助となる仕事をしたい。

日本代表への思い

“キングカズ”こと三浦知良選手をはじめ80人近くのプロを輩出した静岡学園に地元も福島県を離れ入学。

170人の部員がいる中、怪我と実力不足でAチームに昇格はできず。日本代表への思いは消えることは無かった。

01

幼少期から「サッカー日本代表でW杯に出場する」が夢であり、福島県から静岡県の強豪校へサッカー進学。

02

サッカーを引退した後も世界への思いは消えず、就活時に「30歳までにビジネスフィールドで日本代表になる」目標を策定



海外で活躍する憧れ

“大学2年時にバンコクで見たバンコクメトロ。
いたるところに日本の国旗が飾られており、ODAで日本企業が建設に関わっていたことを知る。海外で日本のプレゼンスを発揮し、現地の経済成長にも、日本の経済成長にも関わる憧れが生まれた。

01 大学時代、日本と海外を繋ぎ、インパクトのある仕事ができる総合商社を志望。しかし内定を頂くことはできず。

02 現在は、大企業が出せる大きなインパクトでなくとも、日本と海外に繋がりのある仕事をやりたいと考える。

03 しかし、ビジョンはあるものの職種や業界が定まっておらず、キャリアに不安を抱える。

タイ都市鉄道レッドラインが開通：バンコクで2例目となる日本製車両の導入

2021年8月2日

8月2日、バンコク中心部とドンムアン空港、タリンチャン、パトウムタニー県ランシット等を結ぶ新都市鉄道レッドラインの開通式典が開催されました。

開通式典には、タイ側からはプラユット首相、サックサイアム運輸相、ニルット・タイ国鉄（SRT）総裁などが、日本側からは梨田在タイ日本国大使や森田 JICAタイ事務所長に加え、本事業の建設等を請け負った日系企業コンソーシアムの関係者が出席しました。

JICAは、SRTが運行を開始する総延長41.3kmの新都市鉄道レッドラインのうち、メインとなる北線バンスー～ランシット区間（26.3km）や新バンスー中央駅の建設の他、全線で用いられる車両及び電気設備等を含む新都市鉄道システムの建設を計2,680.81億円の円借款により支援しました（注）。

JICAはこれまで、バンコク初の地下鉄であるブルーライン（2004年開業）や、バンコク郊外（北西部）と都心北部を結ぶパープルライン（2016年開業）の建設を円借款を活用して支援しています。レッドラインの車両及び電気設備等は日本の企業コンソーシアム（三菱重工/日立製作所/住友商事）により製造・納入され、パープルラインに続いて2例目となる日本製鉄道車両が採用されました。また、本事業の一環で建設された新バンスー中央駅は、旧来のフアランポーン駅に代わってタイを代表する新たな長距離路線のターミナル駅となり、将来は高速鉄道や国鉄在来線が乗り入れる予定です。



新たに導入される日本製鉄道車両



新バンスー中央駅舎



タイ都市鉄道レッドラインが開通：バンコクで2例目となる日本製車両の導入
独立行政法人国際協力機構（JICA）

https://www.jica.go.jp/press/2021/20210802_11.html

03

世界一周の目的



世界一周の目的

キャリアや人材へのアプローチを知る

- ・ロールモデルとして海外で活躍されている日本人や外国人のキャリアを知る。
- ・外資系企業や日系現地法人のHR領域のアプローチを知る。

様々なキャリアパスの提案やグローバル化へのきっかけ作り

- ・日本の若者がVUCAの時代を自身を変化させながら人生を歩むための情報提供。
 - ・海外で活躍するロールモデルの紹介。
-

旅の目的を達成するために

- 若者がグローバル人材になるきっかけ作り
- 様々なキャリアパスやライフスタイルの提案



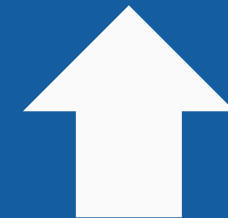
インタビュー記事を
ブログに投稿



現地の人との交流を
SNS発信



その他発信媒体への
寄稿を検討中



海外で活躍する
日本人インタビュー



HRや社員にキャリアに
ついてのインタビュー



様々な職種の社員や
ノマドにインタビュー

なぜキャリアの提案をしたいのか



キャリアに対する不安

- 志望していた商社に新卒入社したものの、自分の思い描いていた仕事とのギャップや会社の組織、育成体制に不満があり退社。
- 「日本と海外を繋ぐ仕事」を目指してはいるものの、自分に合う職種や仕事が不明瞭な状態。
- 今後のマルチステージを生きるためのキャリア探すと、前職で不満があった組織体制、人事制度のアプローチを知るための旅を決意。



About Multistage

3ステージから マルチステージへ

20代から60代という時期を、仕事一辺倒、キャリアアップ一筋で過ごさない。自分をすり減らすような仕事の仕方は避ける。仕事・学び・遊びのバランスをとりつつ、柔軟に人生を組み立てていく。これは、いまの日本の働き方改革に求められるものではないでしょうか。長時間労働を見直し、自分らしい人生を生きる。「不快で残酷で長い」人生ほどつらいものはありません。それを避ける新しい試みは、すでに始まりつつあります。

20歳前後まで教育を受け、65歳までバリバリ働き、その後は引退して余生を楽しむ。多くの日本人がこうした3ステージの人生を想定してきたと思います。しかし、会社も政府の年金もあてにならないいま、65歳までの働きでその後の長い人生を賄うほど貯蓄をするのも難しいでしょう。となれば、できるかぎり健康に過ごし、より長く働くことが求められます。

そうした生き方を可能にする新しいモデルがマルチステージの人生です。

東洋経済新報社

「LIFE SHIFTーライフシフトとは」

<http://str.toyokeizai.net/-/book/life-shift/about/>

なぜキャリアの提案をしたのか



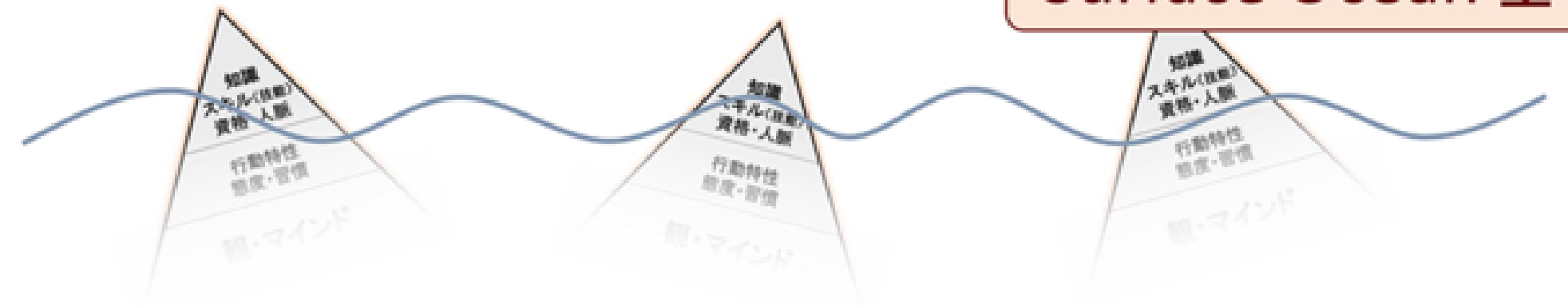
外国人のキャリアに対する考え

- ・4月までのフィリピンに留学において、現地の方は「自分でキャリアの主導権を握る」「転職は当たり前」という考えを聞く人全員が持っていたことに衝撃を受ける。
- ・その根底にあるのは、「自分の幸せへの追求・最大化」という観・マインド。
- ・日本とは違った価値観を学び、キャリアを深める経験をこの期間内でしようとする。
- ・会社に左右されることなく個人が主導権を持ちキャリアを考える価値観を日本の若者にも伝えたいという想いが生じた。

あなたのキャリアは・・・

「処し方」に終始し表層を流れていく

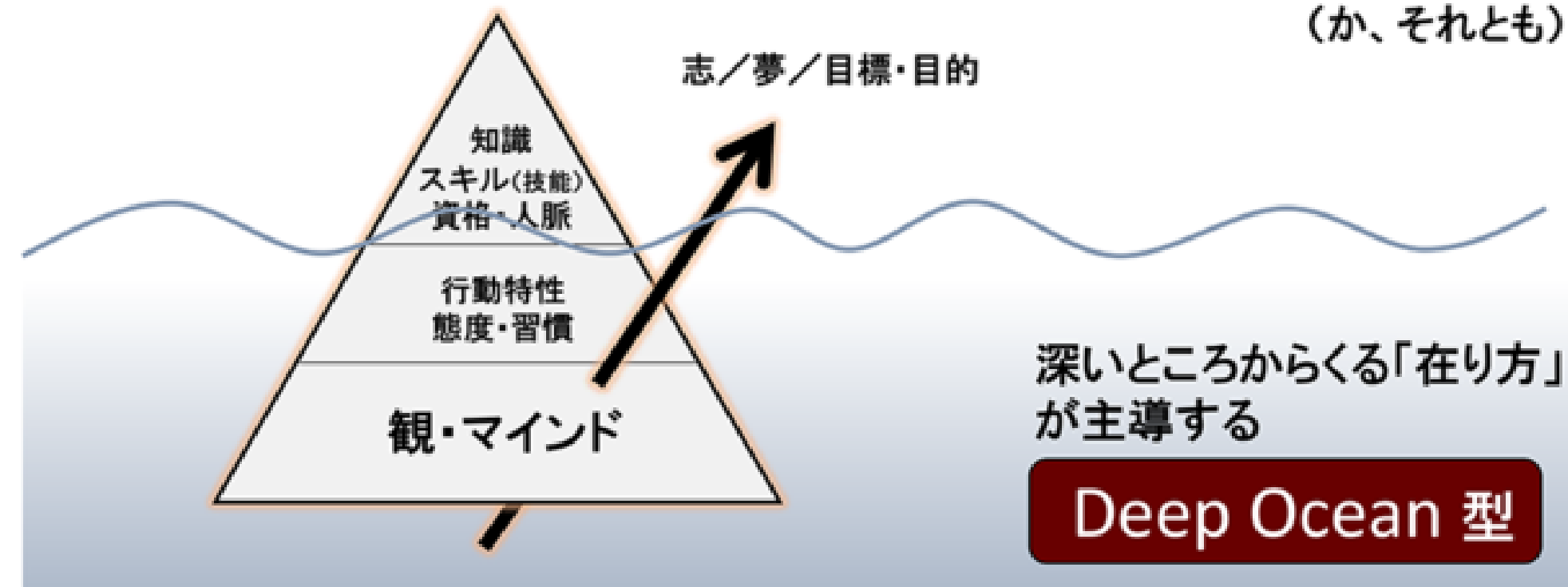
Surface Ocean 型



OR

(か、それとも)

志／夢／目標・目的



深いところからくる「在り方」
が主導する

Deep Ocean 型

キャリアを深めるには「能力：処し方」を超えて「観：在り方」を考えよ

GLOBIS 知見録

<https://globis.jp/article/6547>

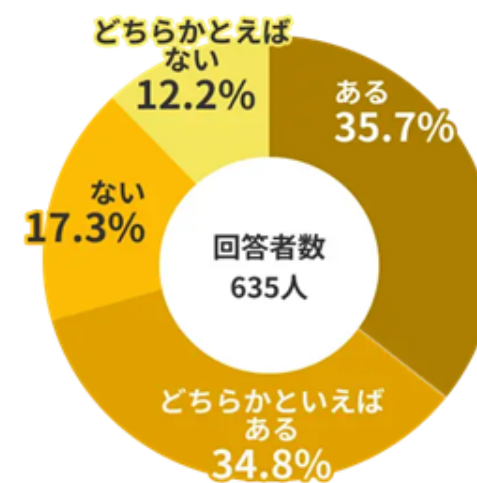
なぜHR領域にフォーカスするのか



大学4年時のキャリア支援団体HR経験、人財と言われる商社勤務からキャリアやHR領域に興味がある

- ・大卒3年以内離職率は30%を越え、キャリアに悩みがある人は70%を越える。
- ・キャリア支援していた学生も納得したキャリア選択をしたはずなのに、退職した後輩が存在。
- ・終身雇用の崩壊やAIの台頭、新たな職種の誕生や女性活躍・男女共同参画の問題が日本に存在しており、上記に対して海外がどのように考えHR領域に落とし込んでいるのかを知りたいという想いが生じたため。

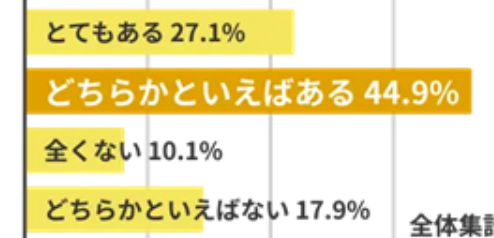
キャリアに関する悩みはありますか



キャリアに関する悩みがあると回答した方

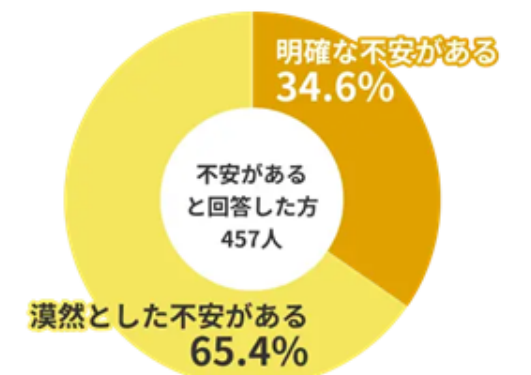
70.5%

今後のキャリアへの不安はありますか



ある派の回答をした方
(ある・どちらかといえばある)
全体 **72.0%**

年代別			
20代	67.8%	30代	80.0%
40代	76.0%	50代	58.4%



最多回答
漠然とした不安がある **65.4%**

キャリアに関する悩み、もっとも多かった内容は「年収・収入について」32.8% / Job総研調査 SalesZine (セールスジン)

<https://saleszine.jp/news/detail/3734#:~:text=%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%AA%E3%82%A2%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E6%82%A9%E3%81%BF%E3%81%AE%E6%9C%89%E7%84%A1,%E3%80%8D12.2%EF%BC%85%E3%81%AE%E5%90%88%E7%AE%97%EF%BC%89%E3%80%82>

なぜグローバル化をしたいのか



転職活動時にグローバルに働ける情報収集すると、日本の人材競争力が低いことを認識。

- ・特に「外国人材の活用」「経営層の国際経験」「言語能力」が評価されず。
- ・グローバル化も世界の競争に取り残されないための一つの要素だと考える。
- ・現時点で自分が国を変えるきっかけを与えられるのが外向き志向の促進であると考え、海外で活躍されている日本人をロールモデルとして紹介することで、グローバル化へのきっかけ作りを実施する。

日本の人材力は世界41位 4年下落、国際経験が最低

2022/12/27(火) 14:24 配信 52



世界人材ランキング

スイスの国際経営開発研究所（IMD）がこのほど発表した2022年版「世界人材ランキング」で、日本の人材競争力は主な63カ国・地域中、41位だった。19年から4年連続で下落し、前年より順位を二つ落とした。

IMDは毎年、各国・地域の人材競争力について、人材に対する「投資と育成」、国内、海外から人材を引きつける「魅力」、人材活用の「準備度合い」の3分野から調査、採点している。

22年の首位はスイス。2～5位をスウェーデンなどの北欧各国が占め、トップ10はいずれも欧州勢だった。アジア・太平洋地域では、12位のシンガポールが最高で、香港（14位）が続いた。

共同通信

「日本の人材力は世界41位 4年下落、国際経験が最低」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6b0b5b51bfa2b6cc3144618db53dbbcd6f54b6d2>

日本は順位低落に歯止めがかからず、22年は14年の調査開始以来、最低だった。分野ごとの順位は「魅力」が27位と中位だった半面、「準備度合い」は54位と低迷した。

各分野の項目別に見ると、「魅力」分野では、企業の「人材誘致、維持」が4位、「経営層への報酬」は8位と上位だったが、「準備度合い」分野の「経営層の国際経験」が63位と最下位で、「言語能力」も62位と低かった。（NNA＝共同）

あなたの静岡新聞

「日本の人材力は世界41位 4年下落、国際経験が最低」

<https://www.at-s.com/news/article/national/1170966.html>

根底の想いとしては...

コロナで実現できなかった 世界一周を実現させたい



○当初、就活終了後の大学4年の夏から開始を計画
しかし、2020年からのコロナウイルス感染拡大
により旅を断念することに、、、

◎コロナ期間に経験した就活支援団体の活動や、前職での勤務を
通じて問題視した【人材・キャリア×グローバル】がテーマ
の世界一周を実施します。



04

ゴール (KGI)

ゴール (KGI) ・ 旅終了後になりたい姿



**自身が歩むキャリアが明確
でネクストアクションを
起こしている状態**

2024年5月中に2024年6月以降に
歩むキャリアパスを明確にし、
ネクストアクションを起こす。



**100人集客し報告会実施
を目指します**

2024年内に対面orオンラインにて「世界
一周報告会」を実施し、100人の集客を
達成する。



**2024年内にキャリアについての
相談・問い合わせを100件頂く**

インタビュー記事を掲載するブログや海外
での交流を投稿する各種SNSを通じて
「キャリア」「海外留学・海外に移住」の
問い合わせを2024年内に100件頂く。

05

ゴール (KPI)

インプット目標値



訪問国：30カ国/9カ月

- 現在の計画だと31カ国
50都市の渡航予定。
- 首都や経済が発展している
都市を訪問予定。
- その他ご依頼があれば調査や
視察等実施計画中。



訪問者数：400人

- 44人/月 計400人訪問目標
- インタビュー数だけでなく、
カンファレンス等でお話を
伺う人数も含む。



各発信媒体の発信内容

Instagram

インタビューする人や
現地での出会いを投稿

- 両思いになりたい相手
- ・キャリアや就活に悩んでいる
 - ・海外に興味がある
 - ・海外挑戦したいけど一歩が出ない

TikTok

現地での人の交流を
主に投稿

- ターゲット
- ・キャリアや就活に悩んでいる
 - ・海外に興味がある
 - ・海外挑戦したいけど一歩が出ない
 - ・海外に行く機会が近くある

ブログ

インタビュー記事の投稿

- ・導線である各種SNSからの最終目的地。
- ・インタビュー記事
- ・海外の移住生活、働く際の情報を発信予定。

note

SNSでは伝えきれない
深い部分

- ・SNSの動画や投稿で伝えきれない部分を文字で伝える。
- ・海外の日記のような形で使用予定。

Thank's For Watching

2050年には今ある仕事の約半数がなくなると
言われ、変化のスピードが加速し新たな
キャリアを模索しなくてはならない
世の中へ突入しています。

人材・キャリア×グローバルをテーマにした
旅を実施し今後のキャリアプランの模索を
いたします。

日本が豊かな国を維持し続けるために。
その成長に携わる人材になるために。
この度を実施して参ります。

